(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 8日

愛知県知事 様

提出者

住 所 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜2-8-1

氏 名 東洋エンジニアリング(株) 取締役社長 永松治夫

電話番号 047-454-1678 Fax:0474-54-1833

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	蒲郡バイオマス発電所建設工事
事	業場の所在地	愛知県蒲郡市浜町27番地
計	画 期 間	2023年4月1日~2024年3月31日
当記	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	建設業 06 総合工事業 (日本標準産業分類中分類による)
	②事業の規模	完成工事高 約220億円
	③従業員数	約200人
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	排出した廃棄物についてはすべて収集運搬業者および処分業者へ委託

(日本工業規格 A列4番)

(第2面) 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 排出事業者:東洋エンジニアリング(株)千葉本社 プロジェクト本部(環境マネジメントに係る支援はHSEマネジメント部が実施) 蒲郡バイオマス発電所建設工事 統括安全衛生責任者(現場代理人) 産業廃棄物管理責任者(元方安全衛生管理者)及び協力会社の安全衛生管理者(各協力会社の 所長) 契約 各産業廃棄物委託業者(収集運搬業者および処分業者) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項---別紙の通り 【前年度 (4 年度) 実績】 産業廃棄物の種類 アスコン 安定型混合 他7種類 排 量 607 t 855 t 出 ① 現狀 (これまでに実施した取組) 令和4年度は廃棄物排出量抑制に努めましたが、以前に地盤に施工さ れたコンクリート/アスコン打設箇所のリッピング作業に伴い多量の 廃棄物が発生しました。 【目標】 安定型混合 他7種類 産業廃棄物の種類 アスコン 排 100 t 出 量 400 t ② 計画 (今後実施する予定の取組) 令和5年度はリッピング作業は終了しますが、引き続きプラント建設 工事に伴う、木くずやがれき類や安定型/管理型混合廃棄物が多く発 生すると推定しますので、分別を積極的に行いつつリサイクル率の高 い率委託業者に委託して、減量に努めます。 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別については一時保管場所の毎日のパトロールにて厳しくチェッ ①現状 クしています。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

分別については協力会社の安全衛生管理者を含めて毎日のパトロー

ルにてさらに厳しくチェックしていきます。

②計画

自らす。	っ行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項一弊	*社の業	務により発生し	た廃棄物は全量が委託で
		【前年度(年度)	実績】	
	①現状	産業廃棄物の種類			
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		t	t
		(これまでに実施した 実施していない。	た取組)		
		【目標】			
		産業廃棄物の種類			
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t	t
		(今後実施する予定の 実施予定なし。	の取組)		
自	っ行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項			
		【前年度(年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類			
	① 現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		t	t
		(これまでに実施した 実施していない。	こ取組)		
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類			
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t	t
		(今後実施する予定の 実施予定なし。	の取組)		

	っ行う産業廃棄物の埋立 は全量が委託です。	処分又は海洋投入処分	に関する事項-	-弊社の業	き務により発生した廃棄								
1/2/1	工主"及此()。	【前年度(年度)実績】										
		産業廃棄物の種類											
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t	t								
		(これまでに実施した 実施していない。	上取組)										
		【目標】											
		産業廃棄物の種類											
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	t								
		(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。											
		大旭」だなし。											
産業	 廃棄物の処理の委託に	関する事項別紙の追	重り										
		【前年度(4年度)実績】										
		産業廃棄物の種類	アスコン		安定型混合 他7種類								
		全処理委託量		607 t	855 t								
		優良認定処理業者への 処理委託量		t	t								
	① 現状	再生利用業者への 処理委託量		607 t	855 t								
		認定熱回収業者への 処理委託量		t	t								
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t								
		(これまでに実施した 発生した廃棄物は積極 らうようにしています	返的に再利用率 	が高い委詞	毛業者に引き取っても								

(第5面)

		【目標】									
	産業廃棄物の種類	アスコン	安定型混合 他7種類								
		全処理委託量	100 t	400 t							
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t							
		再生利用業者への 処理委託量	100 t	400 t							
	②計画	認定熱回収業者への 処理 委託 量	t	t							
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t							
		(今後実施する予定の取組) 今後も積極的に再利用率が高い委託業者に引き取ってもらうよう して、減量化やリサイクル率をさらに高める努力をいたします。									
※ 事	事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙)一覧表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

(事業所の名称)

東洋エンジニアリング㈱千葉本社(蒲郡バイオマス発電所建設工事)

(別紙) 一見衣	(廃棄物处 実績 目標		隻 (令和	Π4	年度)	実績量 目標量		(学术)	「の名称)		果洋エンン	-	(柄)丁呆本	11(湘和八	17 マヘ光	电川建议		単位:トン	<u>/</u> 年	
	排出抑制に関	抑制に関する事項 自ら行う再生利用に 関する事項								6行う埋立処分等 に関する事項 処理委託に関する事項										
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+ ⑧)		日り熟凹収を行う		自ら中間処理により 減量する産業廃棄 物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行う産 業廃棄物の量 (前年度実績値の3+ 9)		全処理委託量		優良認定処理業者 への 処理委託量 (前年度実績値の①)		再生利用業者への 処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者へ の 処理委託量 (前年度実績値の③)		認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量 (前年度実績値の値)	
産業廃棄物の種類	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
コンクリート破片	13. 40	20. 00)								13. 40	20.00			13. 40	20. 00				
アスファルト・コンクリート破片	607. 00	100.00									607. 00	100.00			607. 00	100.00				
がれき類	112. 37	150.00									112. 37	150. 00			112. 37	150.00				
廃プラスチック類	0.00	10.00									0.00	10.00			0. 00	10.00				
金属くず	18. 08	10.00									18. 08	10.00			18. 08	10.00				
安定型混合廃棄物	430. 95	100.00									430. 95	100.00			430. 95	100.00				
木くず	256. 36	50.00									256. 36	50.00			256. 36	50. 00				
繊維くず	5. 07	0.00									5. 07	0.00			5. 07	0.00				
廃石膏ボード	15. 53	0.00									15. 53	0.00			15. 53	0.00				
管理型混合廃棄物	0.00	60.00									0.00	60.00			0.00	60.00				
特別管理廃棄物 廃石綿		0.00)									0.00				0.00				
引火性廃油(有害)		0.00										0.00				0.00				
強アルカリ		0.00)									0.00				0.00				
廃酸		0.00										0.00				0.00				
廃油(無害)		0.00										0.00				0.00				
紙くず		0.00)									0.00				0.00				
建設汚泥	0.00	0.00									0.00	0.00			0. 00	0.00				
ガラス屑・陶磁器くず	3. 46	0.00									3. 46	0. 00			3. 46	0. 00				
																			<u> </u>	<u> </u>
合計	1, 462. 22	500.00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	1, 462. 22	500.00	0. 00	0. 00	1, 462. 22	500. 00	0	0	0	C